

ざか  
「はね坂」のはなし

下米田町西脇に「はね坂」があり、  
次のような話が伝えられています。

戦国時代の末、森山の「愛宕山  
(通称、天狗山)」の砦(とりで)に  
居住していた毛利勘右衛門は、  
自分の領内に住む新妻に横恋慕し、  
自分の女になるように命じましたが、  
彼女は従いませんでした。

怒った勘右衛門は新妻のお尻に  
たいまつをくくり付け、それに火を  
付けて中屋敷(下米田町西脇)  
へ行く坂道をはって登らせました。

新妻は熱さにもだえて、足をびん  
びん跳ねながら坂を登りました。  
このことから、村人はこの坂を「は  
ね坂」と呼ぶようになりました。

◎毛利勘右衛門：森山町の愛宕山  
に砦を築き、川合、西脇、西川辺  
あたりを支配していたが、後に、  
肥田玄蕃允に滅ぼされた。

はね坂(下米田町西脇)



愛宕山(通称、天狗山)

